

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記の通り質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

令和2年8月21日

議席番号

17番

東村山市議会議長 あて

質問者

木村 隆

記

1 地場農産物について

- (1) 学校給食における地場農産物の使用比率を改めて伺います。
- (2) 近隣市では学校給食における、地場農産物の使用比率は、どれくらいなのか。
- (3) 教育委員会と協議した上で学校給食に「地場野菜の日」を設けているが、それを設けている理由は何か。また、その日以外でも地場野菜は学校給食に納品できているのか伺います。
- (4) 東村山の野菜は、美味しいな。ということばかりでなく、当市の地産地消の見地から、地場野菜生産者に対して経済面から支える取り組みはないものなのか伺います。また、他市での地産地消の取り組みについて伺います。
- (5) 地産地消を引き続き推進していく中で、表れる効果はどのようなものがあるか。また、どのように進めていくのかを伺います。
- (6) 地産地消はたいせつな取り組みだと認識しているが、地産外消への取り組みも今後益々重要になってくると思うが、見解を伺います。

2. スクールランチについて

- (1) 喫食率について伺います。平成24年度のスクールランチの喫食率につきまして、中学校全体では60.6%であった。喫食率が年々低くなっていると思うが、現在の喫食率はどうか伺います。
- (2) スクールランチについて、生徒・保護者の意見はどのようなものがあるか伺います。

- (3) 新型コロナウイルス感染症による臨時休業からの学校給食が開始され、中学校給食は、元々お弁当形式の給食なので、この方式が新型コロナ対応に適していると思われる。今後、新型コロナウイルス感染症を視野にいたした中学校給食の給食形式の検討はされているのか伺います。
- (4) 学校の予約システムでタッチパネルに触れて予約するが、ある中学校では、付箋を手にまいて予約するなど工夫を凝らしたと聞いている。今後のコロナウイルス対応等も視野にいたしたシステムを検討しているのか伺います。
- (5) 給食費は立ち上げ当初から食材費 300 円で継続しているが、現段階野菜の高騰などで食材の物価は上昇傾向にある。また消費税が 5 % から 8 %、10 % に上がっても値上げをしないで献立等で努力をしている。今後も給食費の値上げは視野に入れていないのか伺います。
- (6) 他の議員からも質問が過去にあったと思いますが、文部科学省は学校給食費等の徴収については基本的には学校以外が担うべき業務であり、地方公共団体が担っていくべきとありますが、どのように検討されているか改めて伺います。
- (7) 野崎副市長が当時教育部長だったころの答弁では、御飯もおかずも温かいほうが当然いい話だが、全て温かく提供するというのは現時点でかなり難しさもある。味つけの工夫など、できるだけ残菜を減らす努力をこれからも続けていきたいと考えているとしていましたが、現在の取り組み状況はいかがか伺います。
- (8) 市の HP においてチャンネル名「東村山市公式動画チャンネル」YouTube を使って動画配信をされていて、市長もメッセージを配信しております。そこに「作ってみよう！給食メニュー」のタイトルで給食レシピを載せていますが、中学生や保護者等の反応はどうか伺います。
- (9) 教育長にお伺いします。現在、いろいろな食材が取り巻く食環境の中で、中学生に対する食育はどのように考えているのか。新しい生活様式も踏まえた中で、今後の給食のあり方、方向性などについてお伺いします。